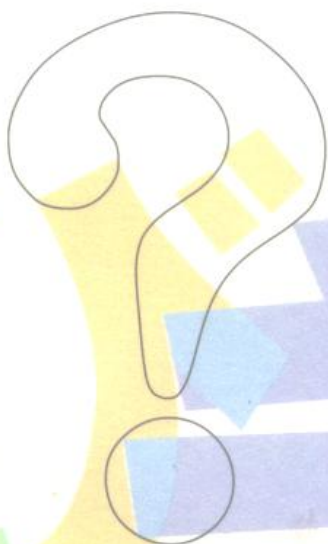


日语语法难点 实例分析

王彦花 编著



 商务印书馆

日语语法难点实例分析

王彦花 编著

商 务 印 书 馆

1998 年·北京

图书在版编目(CIP)数据

日语语法难点实例分析 / 王彦花编著. - 北京: 商务印书馆, 1998

ISBN 7-100-02479-X

I. 日… II. 王… III. 日语-语法 IV. H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字(97)第 08799 号

RIYUYUFANANDIANSHILIFENXI

日语语法难点实例分析

王彦花 编著

商 务 印 书 馆 出 版

(北京王府井大街36号 邮政编码100710)

新华书店总店北京发行所发行

民 族 印 刷 厂 印 刷

ISBN 7-100-02479-X/H·639

1998年6月第1版

开本 787×1092 1/32

1998年6月北京第1次印刷

字数 150 千

印数 5 000 册

印张 75/8

定价: 10.20 元

前 言

中国人在学习日语的过程中,常常会遇到这样的难题,即译成汉语时意思相同或相近的语法现象在日语中却存在着差别,如何根据不同的情况选择正确的表达方式,对于多数学习日语的人来说,确实是一件不容易的事,尤其是学生在日语的实际运用及各类考试中,也经常出现这方面的错误。为了消除这些障碍,加强对日语学习的指导,我着手编写了本书。本书共由 35 个题目组成,主要是通过分析错误例句的形式,对比性地分析、讲解和归纳了日语语法及中日两国语言的不同表现。

为求得观点的可靠性,我查阅了大量最新资料,并就一些语法点向日本专家们作了例句使用情况调查。在分析、论述方面,本书不是单一地讲述某一个知识点,而是将容易混淆、难以掌握的相关问题放在一起,运用对比的方法对不同层次的难点进行了论述,指出了产生错误的原因及解决方法。在编排上,本书按照日语的一般学习过程,由浅入深地安排了全书内容。本书具有很强的针对性、指导性和实用性,可供学习日语的各类人员使用。

本书是我在日本研究期间完成的,在编写过程中得到了日本著名语言学家京都外国语大学日语学科主任佐治圭三教授的热忱指导,佐治先生对本书的全部日文稿作了认真的

审订。另外给予本书大力协助的还有京都外国语大学的内田万里子教授和东京大学的代田智明教授以及水户市的草野真男先生。在此,谨向为我提供了研究机会并资助本书出版的日本国际交流基金会、向为本书的编写提供了方便的京都外国语大学以及所有帮助和支持我的各位朋友表示诚挚的谢意。

由于编者水平所限,书中错误、不妥之处难免,敬请读者不吝赐教。

编 者

1997.2

目 录

一、これは本です 与 これが本です	
——“は” 与 “が”(1)	1
二、※だれは山田さんですか 与 ※山田さんがどなたですか	
——“は” 与 “が”(2)	4
三、 母が ※母は 入院したので、わたしが妹の世話をしました	
——“は” 与 “が”(3)	7
四、机の上に本がある 与 ※教室に試験がある	
——“…に…がある” 与 “…で…がある”	16
五、教室には学生がいる 与 わたしには子供がある	
——表示存在的“いる” 与 “ある”	19
六、何が何だか、何とも言えない	
——“何”的读音	24
七、昨日は暑かったです 与 ※昨日は暑いでした	
——形容词 与 “です”的关系	27
八、だれか来ました、だれか来ましたか 与 だれが来ましたか	
——终助词“か” 与 副助词“か”	32
九、※朝に起きて顔を洗う	
——表示时间的名词 与 “に”	35

- 十、送別会は来月の三日でしたね
——“た”的作用(1) 42
- 十一、めがねをかけている人 与 めがねをかけた人
——“た”的作用(2) 46
- 十二、部屋を $\left\{ \begin{array}{l} \text{出たとき} \\ \text{出るとき} \end{array} \right\}$,電灯を消しました
——从句的时态与主句的时态 51
- 十三、その本だったら,昨日私が向うの部屋の本棚に
 $\left\{ \begin{array}{l} \text{※べきだ} \\ \text{はずだ} \\ \text{わけだ} \end{array} \right.$
置いたから,そこにある
——“べきだ”、“はずだ” 与 “わけだ” 56
- 十四、花子さんがピアノを弾いている $\left\{ \begin{array}{l} \text{の} \\ \text{こと} \end{array} \right\}$ を聞きま
した
——形式体言“の”、“こと”、“もの”(1) 69
- 十五、中学生だから,自分の部屋の掃除は自分で
 $\left\{ \begin{array}{l} \text{のだ} \\ \text{ものだ} \\ \text{ことだ} \end{array} \right.$
する
——形式体言“の”、“こと”、“もの”(2) 82
- 十六、頭が $\left\{ \begin{array}{l} \text{痛いから} \\ \text{痛いので} \\ \text{※痛くて} \end{array} \right\}$ 学校を休みたい
——表示原因、理由的“から”、“ので”、“て” 92
- 十七、寝不足 $\left\{ \begin{array}{l} \text{で} \\ \text{※から} \end{array} \right\}$,授業中居眠りをしていた

- 表示原因、理由の“で” 与 “から”…………… 102
- 十八、海水 $\left\{\begin{array}{l} \text{で} \\ \text{から} \end{array}\right\}$ 食塩を作る
 ——表示材料的“で” 与 “から”…………… 109
- 十九、後ろの人にもはっきり聞こえる $\left\{\begin{array}{l} \text{ように} \\ \text{※ために} \end{array}\right\}$, 大きな声で話してください
 ——表示目的的“ために” 与 “ように”…………… 112
- 二十、かのじょは何も $\left\{\begin{array}{l} \text{言わないで} \\ \text{※言わなくて} \end{array}\right\}$, 泣いてばかりいる
 ——“ないで”、“なくて”、“なく”、“ず”、“ずに” ……
 ……………… 121
- 二十一、夏休みの $\left\{\begin{array}{l} \text{あいだに} \\ \text{※あいだ} \end{array}\right\}$, 海外旅行をした
 ——“あいだ” 与 “あいだに” ……………… 132
- 二十二、日本語の授業は4時 $\left\{\begin{array}{l} \text{までに} \\ \text{※まで} \end{array}\right\}$ 終わります
 ——“まで” 与 “までに” ……………… 135
- 二十三、これはわたしに $\left\{\begin{array}{l} \text{とって} \\ \text{※対して} \end{array}\right\}$, 難しい
 ——“…にとって” 与 “…に対して” ……………… 140
- 二十四、この花は北京で $\left\{\begin{array}{l} \text{見られない} \\ \text{※見えない} \end{array}\right\}$ ようです
 ——“見える” 与 “見られる” ……………… 144
- 二十五、山田さんは弟に本を $\left\{\begin{array}{l} \text{やりました} \\ \text{くれました} \end{array}\right\}$

——表示授受、领取等行为的动词和补助动词
 “やる”、“あげる”、“さしあげる”、“くれる”、“くださる”、“もらう”、“いただく” ……
 …………… 147

二十六、友だちが空港まで迎えてくれた 与 友だちに空港まで迎えてもらった
 ——“…てくれる(くださる)” 与 “…てもら(いただく)” …………… 158

二十七、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{暇があれば} \\ \text{※暇があると} \end{array} \right\}$, 部屋の掃除を下さい
 ——表示顺接假定条件的“と”、“ば”、“たら”、“なら”(1) …………… 165

二十八、あした授業が $\left\{ \begin{array}{l} \text{※終わると} \\ \text{終わったら} \end{array} \right\}$, すぐ家に帰る
 ——表示顺接假定条件的“と”、“ば”、“たら”、“なら”(2) …………… 172

二十九、旅行に $\left\{ \begin{array}{l} \text{※行ったら} \\ \text{行くなら} \end{array} \right\}$, いっしょに行きましょう
 ——表示顺接假定条件的“と”、“ば”、“たら”、“なら”(3) …………… 178

三十、この本を土曜日までに $\left\{ \begin{array}{l} \text{お返ください} \\ \text{返してください} \\ \text{※お返してください} \end{array} \right\}$
 ——尊敬语的表现形式及其应用 …………… 182

三十一、先生、お茶を入れましたが、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{召し上がりますか} \\ \text{※いただきますか} \end{array} \right\}$
 ——谦逊语的表现形式及其应用 …………… 190

三十二、もう時間ですから、はやく	{ 行きましょう ※行こう	
——郑重语的表现形式及其应用		199
三十三、雨が	{ 降るようだ 降るらしい 降りそうだ	
——“ようだ”、“らしい”、“そうだ(样态)”		208
三十四、	{ 食べ終わった ※食べてしまったら ※食べきったら	{ すぐ行きます
——“…おわる”、“…てしまう” 与 “…きる”		220
三十五、わたしはあの映画を見てすっかり	{ 感動した ※感動され た	
——汉语的“受感动” 与 日语的“感動した”		226
主要参考资料		231

(注:在本书中,※表示句子有问题)

① これは本です 与 これ が本です ——“は” 与 “が”(1)

凡是学过日语语法(即使是初级语法)的人,大概都学过“(体言)は+(体言)です”的句型,因为几乎所有的日语教材都不约而同地将这一句型放在第一课,老师会将日语判断句的这一句型教给学生。但是当学了主格助词“が”的作用之一“体言+が”可作主语后,就出现了“これは本です”与“これが本です”的区别问题。

那么,这两个句子到底有什么不同呢?首先让我们分析一下它们的“来历”。

如果不考虑句子的重读(语调)问题,“これは本です”应译成汉语的“这是书”。它是对主语的说明和判断。也就是说,它是在回答“それは何ですか/那是什么?”这样的问话,句子的重点在谓语部分。所谓重点在谓语部分,并不是说主语部分不重要,而是从听话人的角度来说,想知道的内容在句子的谓语部分。比如有人问“それは何ですか/那是什

么?”,你可以只回答“本です/是书”。从这个意义上可以说句子的重点在谓语部分。

“は”是提示助词,它可将某一事物作为主题加以提示,谓语是围绕这个主题进行的说明、判断、解说等。由于“は”具有上述作用,所以它常被用于判断某一事物,说明某一事实,叙述某一恒久的真理以及某种习惯、特征、属性等句子中。如:

- これははさくらです/这是樱花。
- 猫ははねずみを捕えるものです/猫是捉老鼠的动物。
- 富士山はは日本にあります/富士山在日本。
- 雪はは白いです/雪是白的。
- 太陽はは東から出て、西へ沈みます/太阳从东边出来,从西边落下。
- あの人はは山田さんの友だちです/他是山田的朋友。
- 日本はは中国の東にあります/日本在中国的东边。

以上各句的谓语部分都是在说明、判断、解说“は”所提示的主题,这个主题都用“は”表示,“は”前面的部分都是明确的(不能是疑问的)。这就像一个人在做自我介绍一样,如果山田要做自我介绍,就应该说“わたしはは山田です(我是山田)。”因为山田这个人的出现,在场的人是共知的,但是他是谁却是未知的。句子的焦点集中在“是谁?”这一谓语部分。如果这时用“が”会怎么样呢?那就等于是人们早就知道有个叫“山田”的人,但一直不知道哪个人是,这次山田来到了大

家面前,想让大家知道“我就是山田(わたしが山田です)”。也就是说“わたしが山田です”是在回答“だれが山田さんですか”这样的问话。由此可见,“これが本です”虽然与“これは本です”一样,也译成“这是书”,但是它是在回答“どれが本ですか/哪个是书?”这样的提问,句子的重点在主语部分。因此,“これは本です”和“これが本です”的区别就在于前一句是一般的说明、判断,句子重点在谓语部分,译成汉语是“这是书(不是其它的东西)”。而后一句的重点在主语部分,译成汉语是“这是书(其它的不是)”。

② ※だれは山田さんですか 与 ※山田さんが どなたですか ——“は” 与 “が”(2)

在讲解助词“は”与“が”的区别时,作为二者的区别之一,教师总会指出,当疑问词出现在主语部分时,主语用“が”表示,回答时也用“が”;当疑问词出现在谓语部分时,主语用“は”表示,回答时也用“は”。但是,大概是因为汉语中没有与日语助词“は”和“が”相对应的成分,而且日语中“体言+は”或“体言+が”的形式都可构成句子主语的缘故,所以在进行类似“だれ○山田さんですか”的填空练习时,常有人错误地在○中填入“は”。

上节提到“は”可以将某一事物加以提示,谓语是对被提示部分的说明、判断、解说等。因此,“は”所提示的部分必须是明确的,即“は”前面的部分不能是疑问的、不明确的。因为无法对不明确的事物进行说明、判断。所以疑问词后不能接“は”,当疑

问词作主语时,应用“が”表示。如:

误

何は必要ですか。

だれは山田さんですか。

どこは震源地ですか。

どれはあなたの傘ですか。

正

何が必要ですか/需要什么?

だれが山田さんですか/谁是山田?

どこが震源地ですか/哪儿是地震源?

どれがあなたの傘ですか/哪个是你的伞?

所以,本节题目中的“だれは山田さんですか”是错误的,正确的表达应为“だれが山田さんですか”。当疑问词作主语时要用“が”表示,回答这样的问句时主语也要用“が”。如:

- 机の上には何がありますか。↔ 机の上には本があります/桌子上有什么? ↔ 桌子上有书。
- だれが当番ですか↔ わたしが当番です/谁值班? ↔ 我值班。
- どれがあなたのくつですか↔ これがわたしのくつです/哪个是你的鞋? ↔ 这是我的鞋。
- どこが出口ですか↔ あそこが出口です/哪儿是出口? ↔ 那儿是出口。
- どちらが東ですか↔ こちらが東です/哪边是东? ↔ 这边是东。

相反,当疑问词出现在谓语部分时,主语应用“は”表示,回答时也用“は”。如:

- それは何ですか ↔ これはノートです/那是什么? ↔ 这是笔记本。
- かれはだれですか ↔ かれは山田さんです/他是谁? ↔ 他是山田。
- ここはどこですか ↔ ここは新宿です/这里是什么地方? ↔ 这里是新宿。

由于上述原因,本节题目中的“山田さんがどなたですか”是不正确的,正确的表达应为“山田さんはどなたですか”。为了使“は”、“が”与疑问词的关系更明了,现将同一疑问词作谓语和作主语时的情况对照如下:

- { ○ 山田先生はどなたですか/山田老师是哪位?
- { ○ どなたが山田先生ですか/哪位是山田老师?
- { ○ 図書館はどこですか/图书馆是哪儿?
- { ○ どこが図書館ですか/哪儿是图书馆?
- { ○ 東はどちらですか/东是哪边儿?
- { ○ どちらが東ですか/哪边儿是东?
- { ○ あなたのかさはどれですか/你的伞是哪个?
- { ○ どれがあなたのかさですか/哪个是你的伞?

③ { 母が } 入院したので, ※母は }

わたしが妹の世話をしました

——“は” 与 “が” (3)

在分析上面的句子前, 请先看下列例句。

- 母はわたしが嫁に行くとき, 泣きました/母亲在我出嫁时哭了。
- わたしは弟が大学に入学したのをよろこんでいる。/我为弟弟升入大学而高兴。
- わたしは先生が買ってくださった本を友達にあげました/我把老师给我买的书送给朋友了。

以上句中的“母は”、“わたしは”分别是各个句子的主题(即句子的中心), 后面的部分都是围绕这个主题进行的说明、叙述。在这些句子中, 虽然“母は”、“わたしは”与其谓语部分“泣きました”、“よろこんでいる”、“あげました”等相隔“遥远”, 但是